

2. 2023年（令和5年）出水時の気象概況

2-1 台風第2号及び前線による大雨（6月1日～3日）

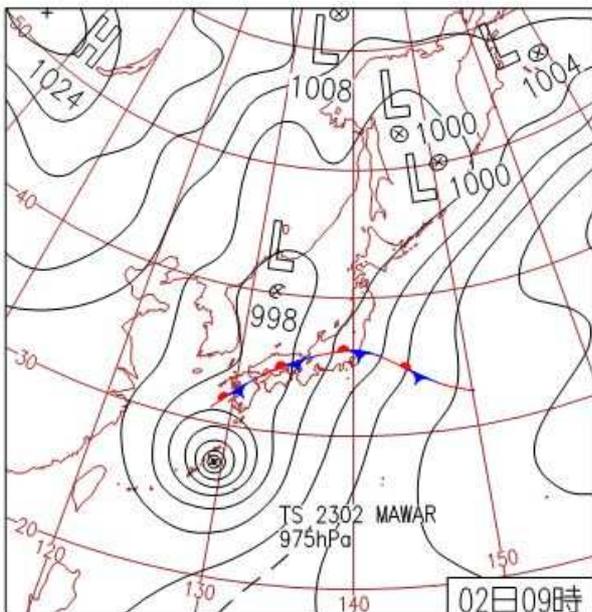
（1）洪水予報の発表状況

河川名	番号	種類	発表日時
豊川及び 豊川放水路	1	氾濫警戒情報	令和5年6月2日 12時20分
	2	氾濫警戒情報	令和5年6月2日 16時00分
	3	氾濫危険情報	令和5年6月2日 17時40分
	4	氾濫危険情報	令和5年6月3日 01時00分
	5	氾濫危険情報	令和5年6月3日 02時45分
	6	氾濫注意情報（警戒情報解除）	令和5年6月3日 04時20分
	7	氾濫注意情報	令和5年6月3日 06時00分
	8	氾濫注意情報解除	令和5年6月3日 08時30分

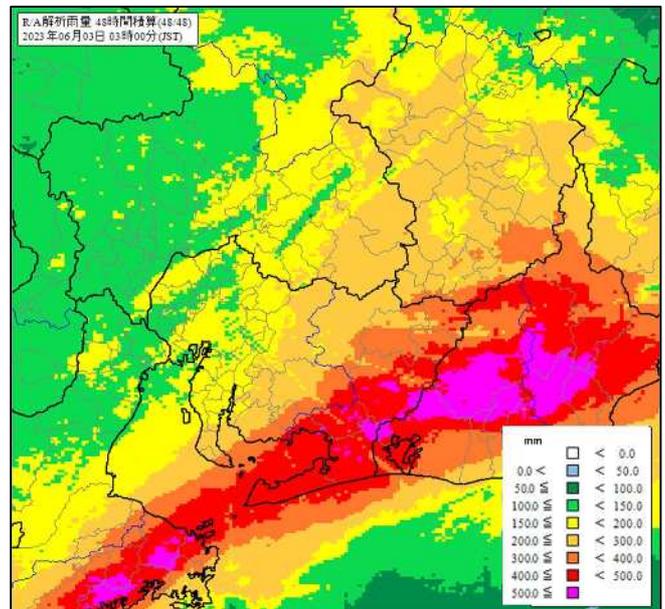
（2）気象概況

6月1日から3日にかけて、台風第2号周辺の暖かく湿った空気が本州付近に停滞する梅雨前線に向かって流れ込み、前線の活動が活発となった。愛知県では6月1日夜から雨が降りはじめ、特に2日夕方から夜のはじめ頃にかけては、線状降水帯が発生するなど、同じ場所で激しい雨や非常に激しい雨が降り続き、西三河南部や東部を中心に記録的な大雨となった。

豊川流域の多いところでは総降水量が500ミリを超え、豊川の放水路第1水位観測所では氾濫危険水位を超過し、石田、当古水位観測所では避難判断水位を超過する出水となった。

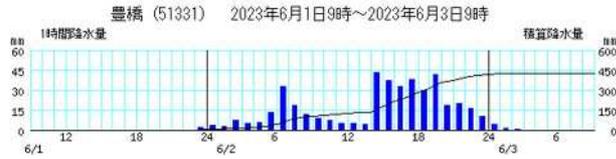
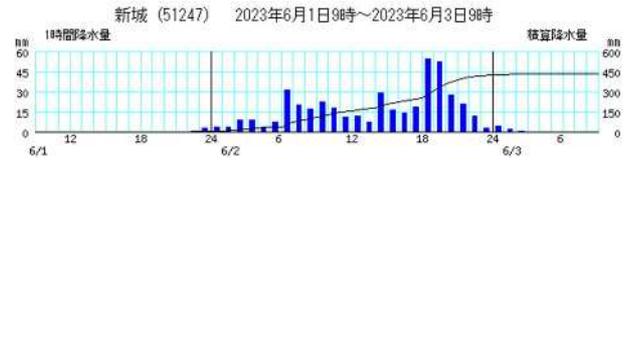
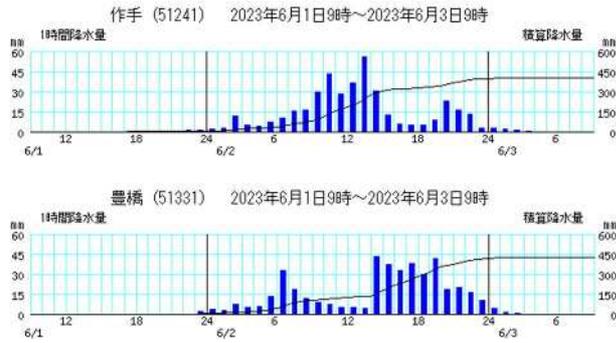


地上天気図（6月2日09時）

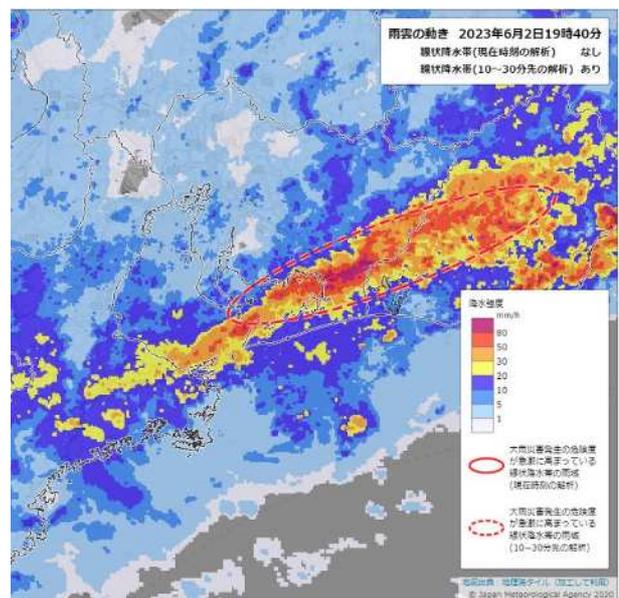
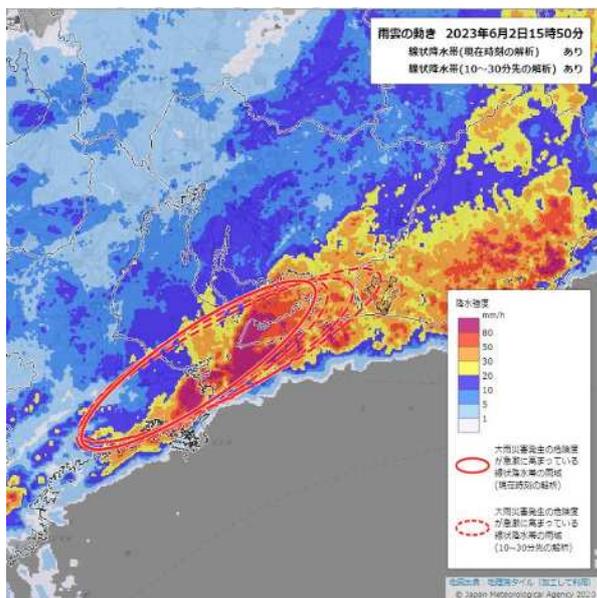


6月3日03時までの48時間積算雨量（解析雨量*）

* 解析雨量：レーダーと雨量計による観測の長所を生かして、1km四方の細かさで解析した降水量分布



アメダス降水量時系列図



線状降水帯の発生状況 赤い楕円：線状降水帯の雨域
(左：6月2日15時50分 右：6月2日19時40分)

※赤い楕円：線状降水帯の雨域（実線 現在時刻の解析、点線 10～30分先の解析）

※顕著な大雨に関する気象情報が発表された際には、「雨雲の動き」、「今後の雨」（1時間雨量又は3時間雨量）において、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域を赤い楕円で表示する。

現在時刻に解析された線状降水帯の雨域を実線で、10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線で表示する。